

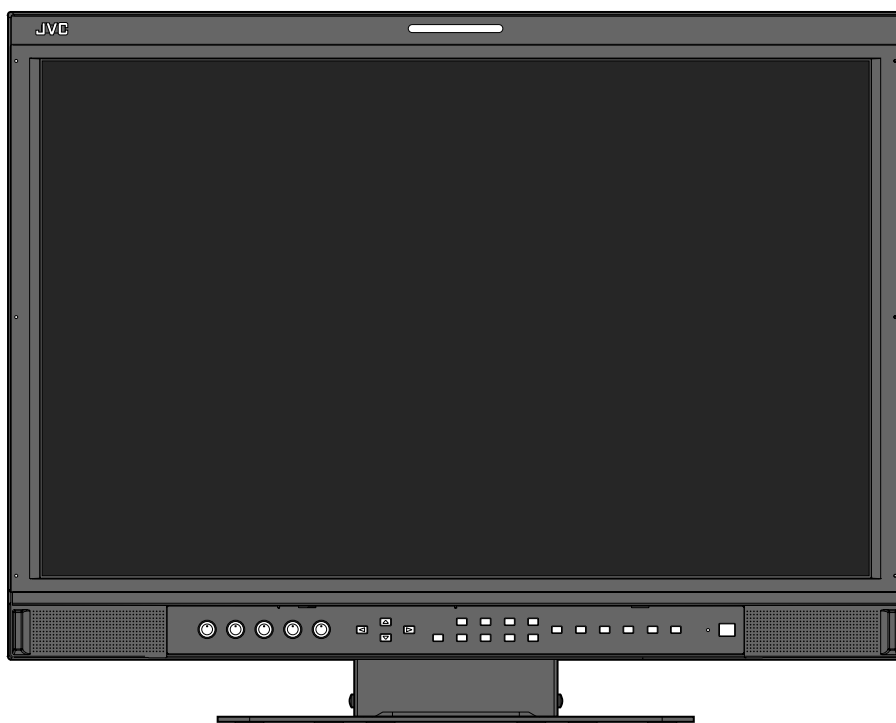
JVC

型名 **DT-V24G1**

DT-V20L3G

取扱説明書

液晶マルチフォーマットモニター



イラストはDT-V24G1です。

お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(2、3ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

※JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

目次

	ページ
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
長時間のご使用について	3
高温での使用について	3
お手入れのしかた	3
設置	4
基本操作・接続	6
正面	6
背面	8
対応信号フォーマット	10
メインメニューの設定	12
セットアップメニューの設定	16
外部制御	20
外部制御の概要	20
MAKE/TRIGGER方式での外部制御	20
シリアル方式での外部制御	22
故障かな?と思ったら	24
自己診断表示について	25
保証とアフターサービス	25
仕様	26
一般	26
液晶パネル	26
入出力端子	26
外形寸法図	27

安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意 「人が軽傷を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



禁止されていること



実行して欲しいこと



警告

表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない。



通気孔をふさがない。

- ・じゅうたんや布団などの上に置かない
- ・テーブルクロスなどを掛けない
- ・横倒し、逆さまの状態で使用しない



電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない。



内部に物を入れない。

感電の原因となります。特にお子様には十分注意してください。



雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。



本機の上に水の入ったものを置かない。



電源コードを傷つけない。

- ・電源コードを加工しない
- ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- ・電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- ・電源コードを熱器具に近づけない



不安定な場所に置かない。



風呂場などの水のある場所で使わない。



本機の裏ぶた、カバー、キャビネットをはずしたり改造したりしない。



動作使用条件(温度、湿度)に注意して設置する。

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。(P.26ページ「動作使用条件」)本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。



警告

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この商品は、放送局などの限定された環境で、専任者により取り扱われることを前提としています。専門知識を持ったかたが操作してください。



次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入った。
- 落下などにより破損した。
- 電源コードが傷んだ。

電源を切る。

電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。



注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

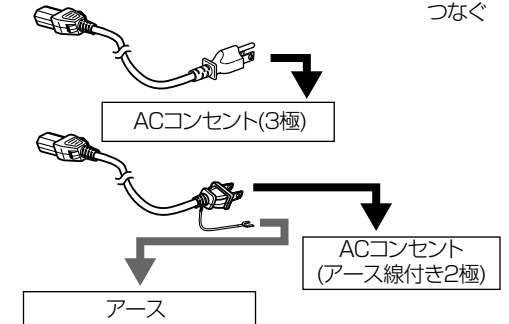


安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない。



電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。



- ・ACコンセントが3極の場合
付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- ・ACコンセントが2極の場合
付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

付属の電源コード以外は使用しない。



禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない。



禁止

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く。



プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。



プラグをコンセントから抜く

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす。



プラグをコンセントから抜く

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントから先に抜く。



プラグをコンセントから抜く

AC電源の入/切について

本機は背面のPOWERスイッチでAC電源を入/切します。背面のPOWERスイッチを入/切できないところに設置した場合は、電源プラグを抜き差ししてAC電源を入/切してください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。確保できないときは、簡単にAC電源を入/切できる遮断装置を屋内の配線に設置してください。



プラグをコンセントから抜く



一般的注意

次のような場所に置かない。



禁止

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする。



一般的注意

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。(参考例: 5ページ「転倒・落下防止のために」)

本機の上に重い物を置かない。



禁止

本機の上に乗らない、ぶら下がらない。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)。



禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない。



禁止

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する。



一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。



一般的注意

使用上のご注意

■ 長時間のご使用について

本機を長時間連続でご使用される場合は、電力消費および機器の負担を軽減するために、MAIN MENU「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC FUNCTION」を「P.SAVE」に設定することをおすすめします。

■ 高温でのご使用について

高温の場所で使用しないでください。パネルや本機の部品が故障することがあります。また、本機の内部には温度センサーがあります。通常使用範囲以上の温度になると、「TEMP. OVER」と表示されます。さらに温度が上がると電源が自動的に切れます。このような場合は、一度温度の低い場所で冷ましてください。

■ お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを張らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

通気孔

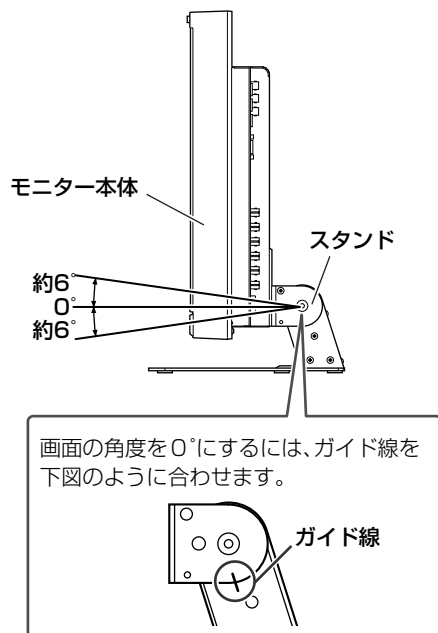
通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

ご注意:

- 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
- 設置するときに、液晶画面に触れないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

出荷時に取り付けられているスタンドで、次の2とおりの設置ができます。

下図の範囲で画面の角度を調節できます。



イラストは DT-V24G1 です。

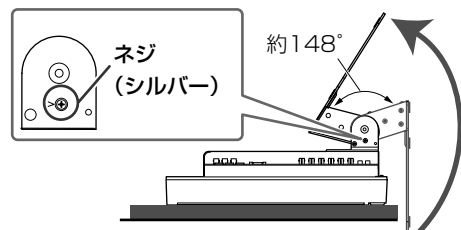
- スタンドの高さは、高位置または低位置のいずれかがえられます。(※5ページ「スタンドの高さ調節」)

ご注意:

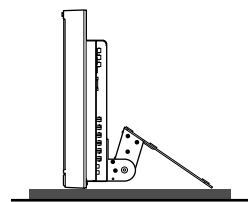
- 画面を傾けるときに、モニター本体とスタンドの間に指をはさまないように注意してください。
- スタンドが低位置の場合は、下方向への角度調節はできません。

スタンドが高位置の場合(※5ページ「スタンドの高さ調節」)は、下図のように置くこともできます。

- 1 スタンドの側面から下図のネジをはずし、スタンドを約148°起こします。



- 2 ネジを再度取り付けてから、下図のように設置します。



イラストは DT-V24G1 です。

- 左図の置きかたに戻す場合は、スタンドの側面からネジをはずし、ガイド線を合わせて、ネジを再度取り付けてください。

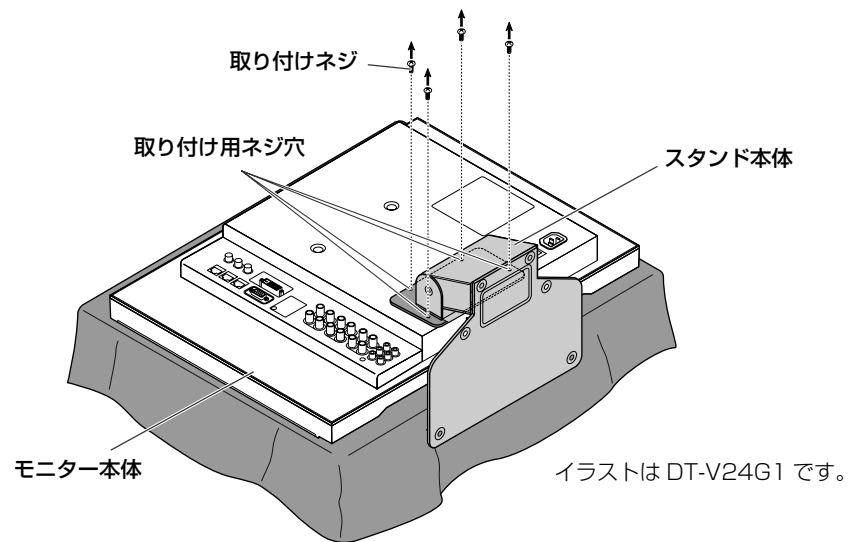
ご注意:

- スタンドを起こすときは…
 - 液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行ってください。
 - 可動部に指をはさまないように注意してください。
- 転倒の原因となりますので、必ず止まるまで(約148°)起こし、上図のように置いてください。
- 設置面に直接金属が接触しますので、傷つき防止のためにマットなどを敷いてから置いてください。
- スタンドが低位置の場合は、スタンドを起こさないでください。

スタンドの取りはずし

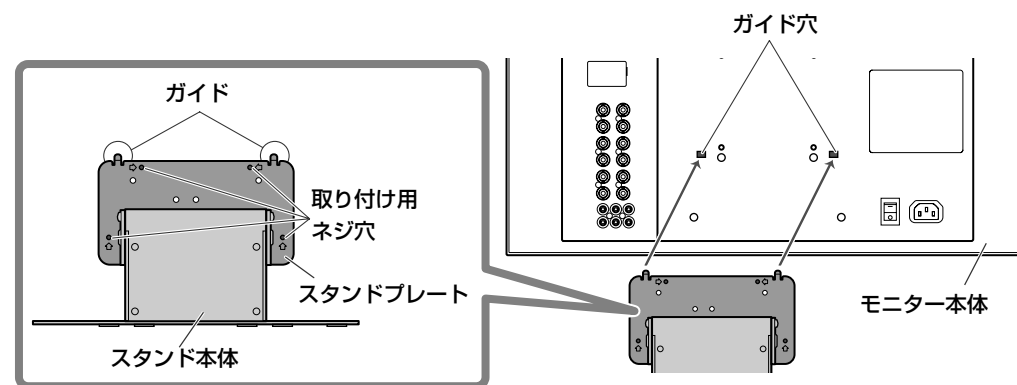
ご注意:

液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行ってください。



スタンドの取り付け

スタンドを取り付けるときは、必ず事前にスタンドプレートのガイドをモニター本体のガイド穴に奥まで入れて、スタンドの位置合わせをします。その後、取り付けネジで固定してください。

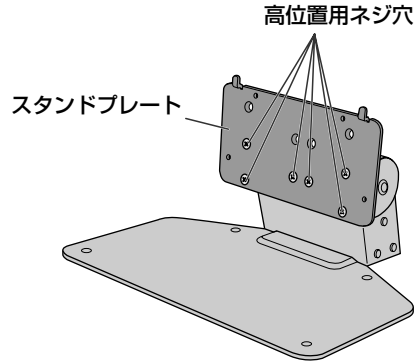


スタンドの高さ調節

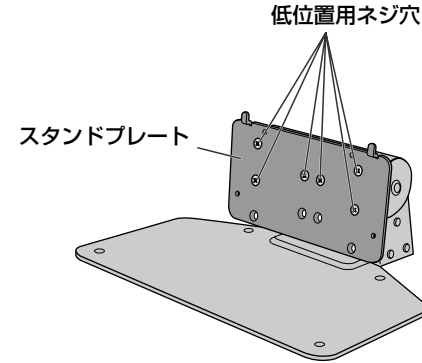
スタンドの高さを変えるときは、モニター本体からスタンドを取りはずします。(※4ページ「スタンドの取りはずし」)

高位置用または低位置用のネジ穴のいずれかをえらび、スタンドプレートの取り付け位置を変えてください。

<高位置>



<低位置>

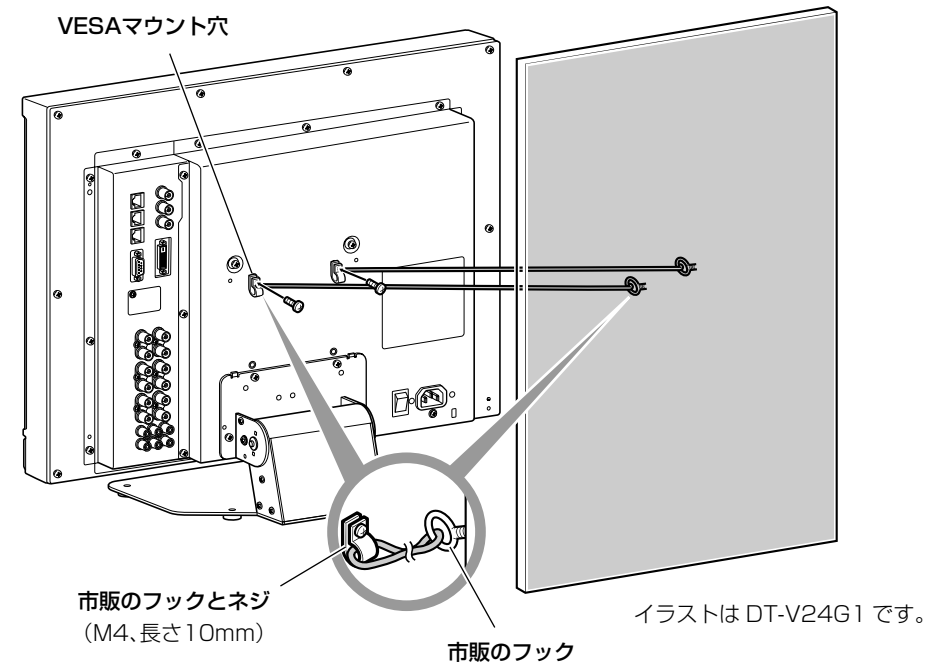


転倒・落下防止のために

本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた

本機背面にあるVESAマウント穴のうち上側の2個に、市販のフックとネジ(M4、長さ10mm)を取り付けます。取り付けしたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。



⚠ 注意

地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止処置を行なってください。

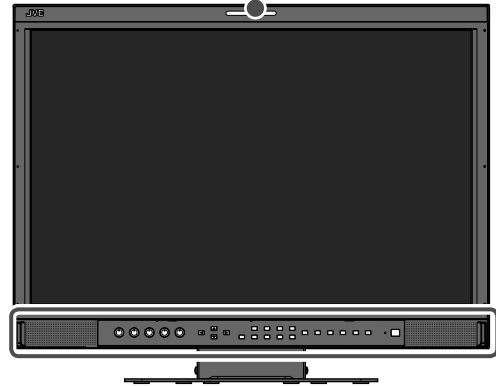
転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

■ 正面

タリランプ

MAKE/TRIGGER端子で点灯を制御。

- 点灯色は「GREEN」、「RED」のいずれかを選ぶことができます。(※16ページ「FUNCTION SETTING」の「TALLY SELECT」、20ページ「外部制御」)



イラストはDT-V24G1です。

1 スピーカー(ステレオ)

AUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)端子から出力される音声信号と同じ音声を出力。(※9ページ「8」AUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)端子)

2 VOLUME調節ノブ

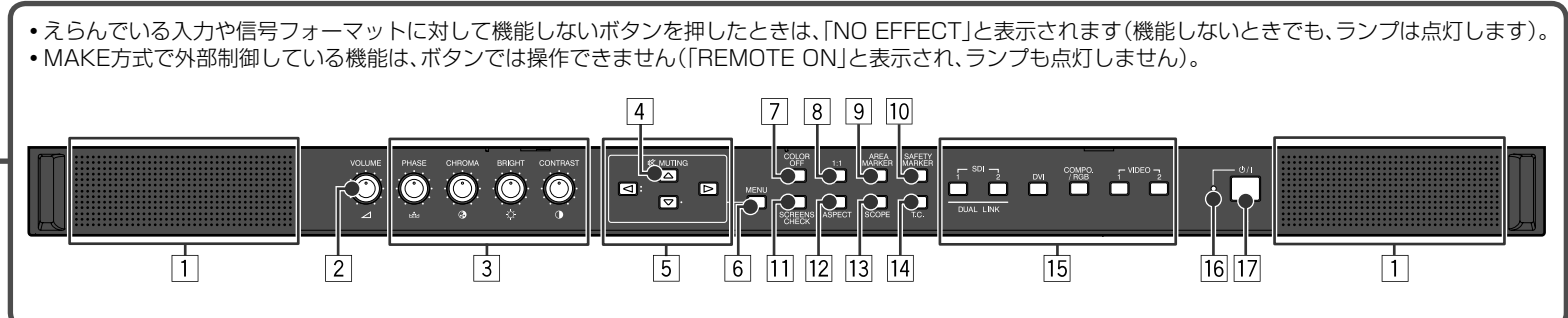
スピーカーの音量を調節。

3 映像調節ノブ

PHASE: 映像の色あい(色相)を調節。
CHROMA: 映像の色の濃さを調節。
BRIGHT: 映像の明るさを調節。
CONTRAST: 映像のコントラストを調節。
 • PHASE調節、CHROMA調節は信号フォーマットによっては動きません。
 • 「COMPONENT PHASE」を「DISABLE」に設定しているとき、PHASE調節はNTSC信号以外では動きません。(※16ページ)

4 MUTINGボタン

メニューが表示されていないときに、スピーカーの音を消音(ミュート)。
 • 解除するには、もう一度押すか、VOLUME調節ノブを回します。
 • メインメニューの「AUDIO SETTING」の「BALANCE」を変更しても解除されます。(※14ページ)



• えらんでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「NO EFFECT」と表示されます(機能しないときでも、ランプは点灯します)。
 • MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません(「REMOTE ON」と表示され、ランプも点灯しません)。

5 ◀/▶/△/▽ ボタン
 メニューが表示されているとき
 項目を選択または調節。
 (※7ページ「メニューの操作」)
 メニューが表示されていないとき
 EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルを選択。(※7ページ「音声チャンネルの選択」)
 • ▽ボタンを押しながら◀ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。
 (※7ページ「メニューの操作」)

6 MENUボタン
 メインメニューの表示/非表示。
 (※7ページ「メニューの操作」)

7 COLOR OFFボタン/ランプ
 輝度信号のみの映像にする。
 • RGB入力には動きません。

8 1:1ボタン/ランプ
 入力信号の解像度と同じ解像度(等倍)で映像を表示。
 • 入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。

9 AREA MARKERボタン/ランプ
 エリアマーカの表示/非表示。
 • エリアマーカはメインメニューの「MARKER」で設定します。(※13ページ)
 • 16:9表示のときのみ動きます。
 • 「MARKER」の「AREA MARKER」または「R-AREA MARKER」を「OFF」に設定しているときは動きません。

10 SAFETY MARKERボタン/ランプ
 セーフティマーカの表示/非表示。
 • セーフティマーカはメインメニューの「MARKER」で設定します。(※13ページ)
 • 1:1表示のときは動きません。
 • 「MARKER」の「SAFETY MARKER」または「R-SAFETY MARKER」を「OFF」に設定しているときは動きません。

11 SCREENS CHECKボタン/ランプ
 R、G、B信号成分を単体で表示。
 • ボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。
 → RGB(通常) → Rのみ
 ← Bのみ ← Gのみ ←

12 ASPECTボタン/ランプ
 4:3フォーマットの信号に、16:9の映像が入っている場合に、映像のアスペクト比を4:3から16:9に切換。
 • もう一度押すと、4:3に戻ります。
 • 1:1表示のときは動きません。

13 SCOPEボタン/ランプ
 波形モニターとベクトルスコープの表示/非表示。(※15ページ「SCOPE SETTING」)
 • ボタンを押すごとに、ウィンドウが次のように切り換わります。
 → 表示なし → 波形モニター
 ← ベクトルスコープ ←

14 T.C.ボタン/ランプ
 SDI信号に含まれている時間データ(タイムコード)の表示をオン/オフ。
 (※7ページ「情報表示について」)
 • タイムコードはセットアップメニューの「INFORMATION」で設定します。(※18ページ)

15 INPUT SELECTボタン/ランプ
 入力を選択。
SDI 1: E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1) 端子からの入力
SDI 2: E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2) 端子からの入力

DUAL LINK SDI:
 E.AUDIO HD SDI (IN 1、IN 2) 端子からの入力
DVI: DVI-D(HDCP)端子からの入力
COMPO./RGB:
 COMPO./RGB端子からの入力

VIDEO 1: VIDEO(INPUT 1)端子からの入力
VIDEO 2: VIDEO(INPUT 2)端子からの入力
 • えらんでいる入力のランプが点灯します。
 • メインメニューの「SDI DUAL LINK」が「ON」のときは、SDI 1とSDI 2のどちらを押してもDUAL LINKを選択できます。(※12ページ)

16 電源ランプ
消灯: 電源が完全に切れている状態(背面の電源スイッチがオフ)

緑色: モニターがオン
オレンジ色: モニターがオフ(スタンバイ)

オレンジ色点滅:
 P.SAVE(省電力)モード(※15ページ「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC ACTION」)

17 0/1 ボタン
 モニターをオン/オフ(スタンバイ)。
 • 背面に本機の電源スイッチがあります。(※8ページ「1」)

メニューの操作

1 メニューを表示させる

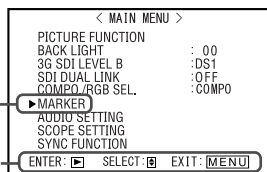
メインメニューを表示させるとき

→ MENU ボタンを押す

セットアップメニューを表示させるとき

→ ▽ ボタンを押しながら ◀ ボタンを押す

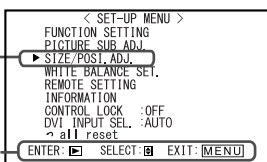
メインメニュー



えらんでいる項目

操作ガイド

セットアップメニュー

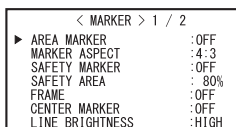


えらんでいる項目

操作ガイド

2 △▽ ボタンで項目をえらび、 ▷ ボタンで次の画面へ進む

・項目によっては、◀▷ ボタンを押して設定します。



(例) メインメニューの「MARKER」をえらんだとき

3 △▽ ボタンで項目をえらび、 ◀▷ ボタンで設定する

4 MENUボタンを押してメニューの操作を終了する

・メニュー画面の表示が消えるまで、MENU ボタンをくり返し押します。

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカー(L/R)とAUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)(OUT 1(L)/OUT 2(R))端子から出力する音声チャンネルをえらびます。

- ・音声チャンネルのグループを設定しておく必要があります。(※14ページ「AUDIO SETTING」の「E.AUDIO GROUP」)
- ・DUAL LINK SDI入力の場合はSDI 1として動作します。
- ・SDI 1とSDI 2のそれぞれの入力ごとに記憶されます。

1 メニューを表示していないときに ◀または▷ ボタンを押す

音声チャンネル選択画面が表示されます。

・音声チャンネル選択画面は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。

音声チャンネル選択画面



2 △▽ ボタンで左右(L ch/R ch)をえらぶ

3 ◀▷ ボタンで音声チャンネルをえらぶ

・ボタンを押すごとに、「E. AUDIO GROUP」の設定に従って音声チャンネルが切り換わります。(※14ページ「お知らせ」)

4 MENUボタンを押す

音声チャンネル選択画面が消えます。

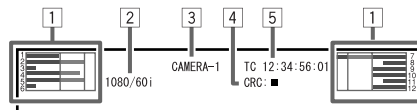
オーディオレベルメーター機能について

オーディオレベルメーターを表示させて、入力中のEMBEDDED AUDIO信号の状態を確認することができます。(※右記「情報表示について」、14ページ「AUDIO SETTING」の「LEVEL METER SETTING」)

情報表示について

入力に関して、以下の情報が表示されます。

- ・各情報の表示/非表示は、メニューで設定します。(※6のみ、T.C.ボタン(※6ページ14)で設定します。
- ・情報の表示位置は、「INFORMATION」の「POSITION」で設定します。(※18ページ)



1 オーディオレベルメーター

- ・「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは表示されません。(※14ページ「AUDIO SETTING」)

2 信号フォーマット

- ・「STATUS DISPLAY」が「ON」のとき表示されます。(※18ページ「INFORMATION」)
- ・表示内容については、10ページの「対応信号フォーマット」および「信号フォーマットについて」をご覧ください。

3 「CHARACTER SET.」で登録した入力映像ソース名

- ・「SOURCE ID」が「ON」または「AUTO」のとき表示されます。
- ・「STATUS DISPLAY」が「OFF」または「AUTO」のときは、大きな文字で表示されます。(※18ページ「INFORMATION」)

4 CRCエラー表示

- ・「CRC ERROR」が「ON」のとき表示されます。(※18ページ「INFORMATION」)
- ・エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。

5 タイムコード

- ・入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC ---:---:---:---」と表示されます。(※6ページ14)

・パソコン信号以外の信号が入力されているとき、

- 1、2、3、4のいずれかが表示されていると、映像は情報表示領域を避けて表示されます。ただし、以下の場合は映像と情報表示が重なります。
 - パネル解像度より高い解像度の信号を1:1表示しているとき
 - 「SD4:3 LARGE」が「ON」のとき(※16ページ「FUNCTION SETTING」)

ステータス表示について

現在ランプが点灯しているINPUT SELECTボタン(※6ページ16)を押すと、入力信号のステータスとMUTING(消音)の設定状態が約3秒間表示されます。

- ・ステータスの表示/非表示は、「INFORMATION」の「STATUS DISPLAY」で設定します。(※18ページ)
- ・「STATUS DISPLAY」を「AUTO」または「ON」に設定すると、次の場合にもステータスが表示されます。
 - 入力を切り換えたとき
 - 現在えらんでいる入力の信号の状態が変わったとき
 - モニターをオンにしたとき
- ・「STATUS DISPLAY」を「ON」に設定したときは、ステータスが表示されてから3秒後に、信号フォーマットのみ表示されます。



1 信号フォーマット

- ・表示内容については、10ページの「対応信号フォーマット」および「信号フォーマットについて」をご覧ください。

2 DVI入力時の信号形式または「COMPO./RGB SEL.」の設定状態

※12ページ「COMPO./RGB SEL.」、19ページ「DVI INPUT SEL.」

DUAL LINK設定表示/3G SDI信号情報表示

※11ページ「お知らせ」

3 「SYNC INPUT SEL.」を「EXT.」(外部同期)に設定しているときに表示

※15ページ「SYNC FUNCTION」

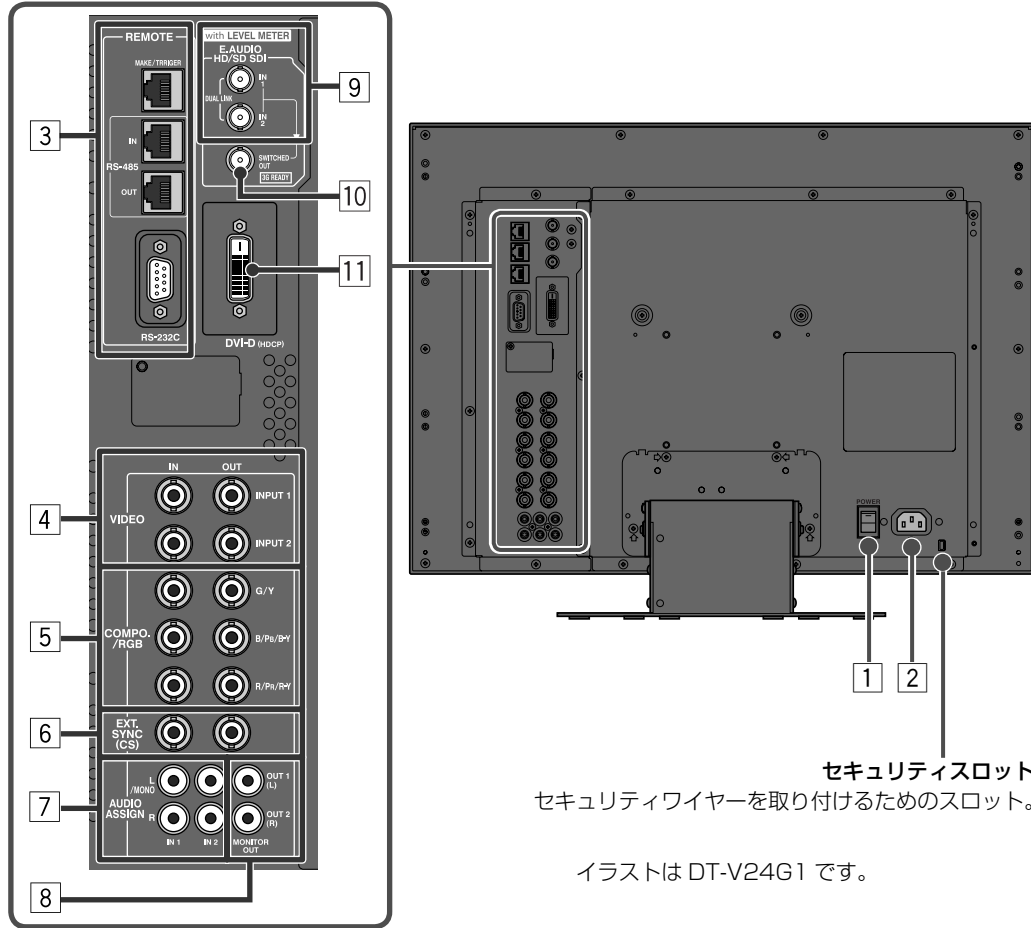
3G SDI信号入力時の詳細情報表示

- ・信号フォーマットのサンプリング構造/ピクセル分解能が表示されます。
- ・3G SDI信号が入力されたときのみ表示されます。

4 MUTING(消音)の設定状態

- ・消音時のみ表示されます。(※6ページ4)

■ 背面



セキュリティスロット

セキュリティワイヤーを取り付けるためのスロット。

イラストは DT-V24G1 です。

- 1 電源スイッチ**
電源をオン/オフ。

 - 電源スイッチをオンにしても、**⏻/⏪** ボタン(☞6ページ17)をオンにしないとモニターは動作しません。
- 2 AC IN端子**
AC電源の入力端子。
付属の電源コード(3極または2極)を接続します。
• 付属の電源コードホルダーを取り付けて、プラグが抜けないように固定できます。(☞9ページ)
• 2ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する)」をよくご覧ください。

ご注意:
すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。
- 3 REMOTE端子**
本機を外部から制御するための端子。(☞20ページ「外部制御」)
- 4 VIDEO(INPUT 1、INPUT 2)端子(BNC)**
コンポジット信号の入出力端子。
- 5 COMPO./RGB(G/Y、B/Pb/B-Y、R/Pr/R-Y)端子(BNC)**
アナログコンポーネント(色差)信号またはアナログRGB信号の入出力端子。
• 入力信号にあわせて、「COMPO./RGB SEL.」を正しく設定してください。(☞12ページ)
- 6 EXT.SYNC(CS)端子(BNC)**
外部同期信号(複合同期信号)の入出力端子。
• この端子を使うときは「SYNC INPUT SEL.」を「EXT.」に設定してください。(☞15ページ「SYNC FUNCTION」)
• この端子はVIDEO(INPUT 1、INPUT 2)端子、COMPO./RGB端子共用です。
• 外部同期信号を選択すると、VIDEO 1入力、VIDEO 2入力、COMPO./RGB入力よりも外部同期が優先されます。
- 7 AUDIO ASSIGN(IN 1、IN 2)端子(ピンジャック)**
アナログ音声信号の入力端子。
• SDIのアナログ音声信号の場合は、この端子に入力します。EMBEDDED AUDIO信号が重畳したSDI信号が入力されている場合、アナログ音声信号は入力できません。
• 対応する映像信号を入力する端子は、「AUDIO1 ASSIGN.」、「AUDIO2 ASSIGN.」で設定します。(☞14ページ「AUDIO SETTING」)

8 AUDIO ASSIGN(MONITOR OUT)端子(ピンジャック)

アナログ音声信号の出力端子。

- 「AUDIO 1 ASSIGN.」または「AUDIO 2 ASSIGN.」(☞ 14ページ「AUDIO SETTING」)で設定されている入力をINPUT SELECTボタンでえらんだとき、AUDIO ASSIGN(IN 1またはIN 2)端子に入力されている音声信号を出力します。
- モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード) (☞ 15ページ「NO SYNC ACTION」)のときのみ出力されます。
- EMBEDDED AUDIO信号は...
 - アナログ音声信号にデコードして出力されます。
 - SDI入力(SDI 1またはSDI 2)がえらばれ、E.AUDIO HD/SD SDI入力端子(IN 1またはIN 2)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されているときのみ出力されます。
 - 「AUDIO 1 ASSIGN.」、「AUDIO 2 ASSIGN.」で「SDI-1」または「SDI-2」が設定されている場合、E. AUDIO HD/SD SDI入力端子(IN 1またはIN 2)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されると、AUDIO ASSIGN(IN 1またはIN 2)端子に入力されている音声信号よりも、優先して出力されます。

9 E. AUDIO HD/SD SDI(IN 1、IN 2)端子(BNC)

HD/SD SDI信号の入力端子。

- サンプリング周波数48 kHz、1~12チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。
- DUAL LINK SDI入力の場合は両端子を使用します。

10 E. AUDIO HD/SD SDI (SWITCHED OUT)端子(BNC)

HD/SD SDI信号の出力端子。

- 現在えらばれているSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号がリクロックされて出力されます。
- SDI入力以外の入力に切り換えたときは、最後にえらんだSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号が出力されます。
- モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)のときのみ出力されます。
- DUAL LINK SDI入力の場合は出力されません。

11 DVI-D (HDCP)端子

HDCP対応のDVI-D信号の入力端子。

- 映像が正しく表示されないときは、「DVI INPUT SEL.」の設定を変えてください。(☞ 19ページ)

接続するときの注意

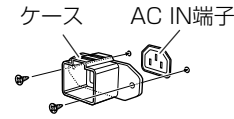
- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをえらんでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

電源コードホルダー(付属品)の取り付けかた

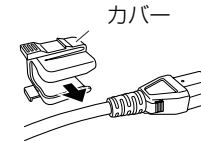
電源コードが抜けるのを防ぐため、本機の背面にホルダーを取り付けます。

- ホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。

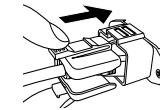
1



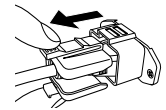
2



3



カバーをはずすときは...



ご注意:

- 付属のネジ以外は使用しないでください。
- カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けないかどうかをご確認ください。

基本操作・接続(つづき)

■ 対応信号フォーマット 本機は以下の信号フォーマット入力・再生できます。

ビデオ信号

No.	名称	ステータス表示の信号フォーマット (※7ページ)	入力端子					
			VIDEO (INPUT1, INPUT2)	COMPO./RGB(アナログコンポーネント/アナログRGB) ^{注1}	E. AUDIO SDI(IN 1, IN 2) ^{注2}			DVI-D(HDCP) (デジタルコンポーネント/デジタルRGB)
					SD/HD(1.5G)	3G SDI	DUAL LINK	
1	NTSC	NTSC	○	—	—	—	—	—
2	PAL	PAL	○	—	—	—	—	—
3	B/W50	B/W50	○	—	—	—	—	—
4	B/W60	B/W60	○	—	—	—	—	—
5	480/60i	480/60i	—	○	○	—	—	○
6	480/59.94i	480/59.94i	—	○	○	—	—	○
7	576/50i	576/50i	—	○	○	—	—	○
8	480/60p	480/60p	—	○	—	—	—	○
9	480/59.94p	480/59.94p	—	○	—	—	—	○
10	576/50p	576/50p	—	○	—	—	—	○
11	640*480/60p	640*480/60p	—	—	—	—	—	○
12	640*480/59.94p	640*480/59.94p	—	—	—	—	—	○
13	720/60p	720/60p	—	○	○	○	—	○
14	720/59.94p	720/59.94p	—	○	○	○	—	○
15	720/50p	720/50p	—	○	○	○	—	○
16	720/30p	720/30p	—	○	○	○	—	—
17	720/29.97p	720/29.97p	—	○	○	○	—	—
18	720/25p	720/25p	—	○	○	○	—	—
19	720/24p	720/24p	—	○	○	○	—	—
20	720/23.98p	720/23.98p	—	○	○	○	—	—
21	1080/60i	1080/60i	—	○	○	○	○	○
22	1080/59.94i	1080/59.94i	—	○	○	○	○	○
23	1035/60i	1035/60i	—	○ ^{注3}	○	—	—	○ ^{注3}
24	1035/59.94i	1035/59.94i	—	○ ^{注4}	○	—	—	○ ^{注4}
25	1080/50i	1080/50i	—	○	○	○	○	○
26	1080/60p	1080/60p	—	—	—	○	○	○
27	1080/59.94p	1080/59.94p	—	—	—	○	○	○
28	1080/50p	1080/50p	—	—	—	○	○	○
29	1080/30p	1080/30p	—	○	○	○	○	○
30	1080/29.97p	1080/29.97p	—	○	○	○	○	○
31	1080/25p	1080/25p	—	○	○	○	○	○
32	1080/24p	1080/24p	—	○	○	○	○	○
33	1080/23.98p	1080/23.98p	—	○	○	○	○	○
34	1080/30psF	1080/30psf	—	○ ^{注3}	○ ^{注3}	○	○	—
35	1080/29.97psF	1080/29.97psf	—	○ ^{注4}	○ ^{注4}	○	○	—
36	1080/24psF	1080/24psf	—	○	○	○	○	—
37	1080/23.98psF	1080/23.98psf	—	○	○	○	○	—
38	1080/25psF	1080/25psf	—	—	—	○	○	—

○:入力可
—:入力不可

注1 アナログコンポーネント/アナログRGB信号は、G on sync信号、Y on sync信号および複合同期信号(Cs)に対応します。セパレート同期信号(HS/VS)には対応しません。

注2 EMBEDDED AUDIO信号対応。

注3 1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。

注4 1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。

信号フォーマットについて

入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。

DVI入力で、HDCP対応の信号が入力されたとき

→信号フォーマットの表示の一番後ろに「*」が付きます。

映像信号が入力されていないとき

→「NO SYNC」と表示されます。

本機で対応していない映像信号が入力されたとき

→「Out of range」と表示されます。

「COLOR SYSTEM」(※16ページ「FUNCTION SETTING」)が「AUTO」に設定されているときに、本機で対応していないコンポジット信号が入力されたとき

→「OTHERS」と表示されます。

パソコン信号(プリセット)

DVI-D(HDCP)端子:

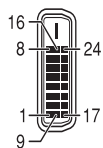
No.	名称	解像度		周波数		走査方式
		水平	垂直	水平(kHz)	垂直(Hz)	
1	VGA60	640	480	31.5	59.9	ノンインターレース
2	WVGA60	852	480	31.5	59.9	ノンインターレース
3	SVGA60	800	600	37.9	60.3	ノンインターレース
4	XGA60	1024	768	48.4	60.0	ノンインターレース
5	WXGA(1280)	1280	768	47.8	60.0	ノンインターレース
6	WXGA+60	1440	900	55.9	60.0	ノンインターレース
7	SXGA60	1280	1024	64.0	60.0	ノンインターレース
8	WSXGA+60	1680	1050	65.2	60.0	ノンインターレース
9	UXGA60 ^{注5}	1600	1200	75.0	60.0	ノンインターレース
10	WUXGA60 ^{注5}	1920	1200	74.0	60.0	ノンインターレース
11	720/60p	1280	720	45.0	60.0	ノンインターレース
12	1080/60p ^{注5}	1920	1080	67.5	60.0	ノンインターレース
13	720/50p	1280	720	37.5	50.0	ノンインターレース
14	1080/50p ^{注5}	1920	1080	56.25	50.0	ノンインターレース

^{注5} DT-V20L3Gでは、No.9、10、12、14の信号は、解像度が本機のパネルの解像度より高いため、細かい線が見えにくくなります。

- 入力可能な周波数範囲内(※26ページ「水平/垂直周波数(パソコン信号)」)であっても、プリセットされていない信号は正常に映らないことがあります。
- プリセットされている信号を入力したときは、ステータス表示で信号フォーマットが表示されます。プリセットされていない信号を入力したときは、解像度が表示されます。

DVI-D(HDCP)端子の仕様

パソコンのモニター(DVI-D)出力端子と接続します。



ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	T.M.D.S Data 2-	9	T.M.D.S Data 1-	17	T.M.D.S Data 0-
2	T.M.D.S Data 2+	10	T.M.D.S Data 1+	18	T.M.D.S Data 0+
3	T.M.D.S Data 2 shield	11	T.M.D.S Data 1 shield	19	T.M.D.S Data 0 shield
4	NC	12	NC	20	NC
5	NC	13	NC	21	NC
6	DDC Clock	14	+5 V Power	22	T.M.D.S Clock shield
7	DDC Data	15	GND	23	T.M.D.S Clock+
8	NC	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S Clock-

お知らせ

DUAL LINK設定表示/3G SDI信号情報表示

DUAL LINK設定は、3G SDI信号情報よりも優先して表示されます。メインメニューの「SDI DUAL LINK」(※12ページ)が「OFF」の状態、3G SDI信号が入力されたときは3G SDI信号情報が表示されます。

DUAL LINK設定表示について

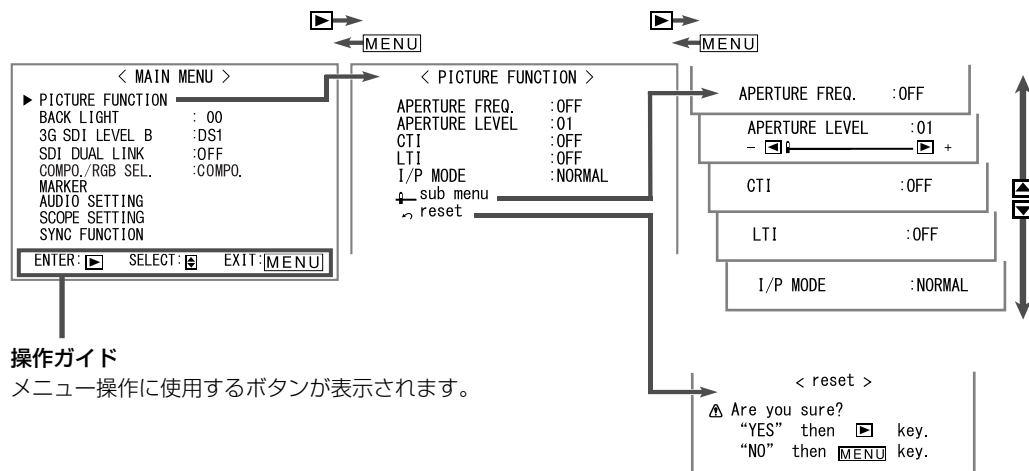
メインメニューの「SDI DUAL LINK」(※12ページ)が「ON」の状態、SDI入力を選択されていると「DUAL LINK」と表示されます。

3G SDI信号情報表示について

3G SDI入力時に表示できる入力信号は以下のとおりです。

- 3G A-1 :レベルA マッピングストラクチャー1
- 3G A-2 :レベルA マッピングストラクチャー2
- 3G A-3 :レベルA マッピングストラクチャー3
- 3G A-4 :レベルA マッピングストラクチャー4
- 3G B-DS1 :レベルB データストリーム1
- 3G B-DS2 :レベルB データストリーム2
- 3G B-DUAL :レベルB DUAL LINK

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

PICTURE FUNCTION

画質を向上させるための設定

項目名	内容	設定値
APERTURE FREQ. 注1	[APERTURE LEVEL]で補正する輝度信号の周波数を設定	OFF, LOW, HIGH
APERTURE LEVEL 注1	輝度信号の周波数特性を補正	01 ~ 10
CTI	色信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	OFF, NORMAL, HARD
LTI	輝度信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	OFF, NORMAL, HARD
I/P MODE	入力映像に応じてスキャンモードを選択	NORMAL, CINEMA, FIELD
sub menu	[PICTURE FUNCTION]の項目を映像を見ながら調節	
reset	[PICTURE FUNCTION]の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1 入力ごとに記憶されます。

BACK LIGHT 設定値: -20 ~ +20

バックライトの明るさを調節

3G SDI LEVEL B 設定値: DS1, DS2

3G SDIレベルB入力時、多重処理された2つのHD SDI信号から表示させたいデータストリームを選択

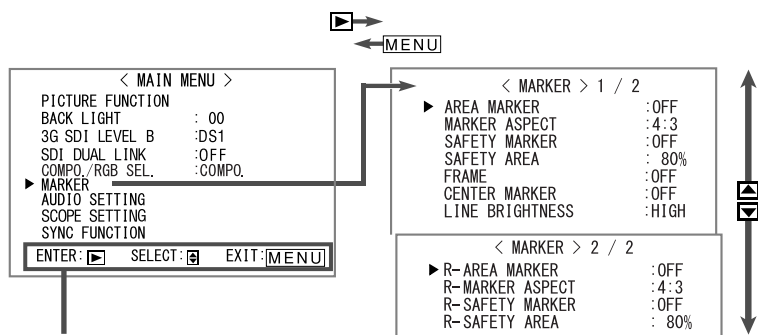
SDI DUAL LINK 設定値: OFF, ON

SDI信号のDUAL LINK機能をオン/オフ

- 設定を「ON」にしておくと、「DUAL LINK」とステータスが表示されます。このとき、SDI信号他のステータスは表示されません。
- DUAL LINK SDI以外のSDI信号入力時は、設定を「OFF」にしてください。

COMPO./RGB SEL. 設定値: COMPO.(コンポーネント)、RGB

COMPO./RGB端子に入力する信号にあわせて選択



操作ガイド

メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「AREA MARKER」、「SAFETY MARKER」、「R-AREA MARKER」、「R-SAFETY MARKER」の設定

設定値と内容は以下のとおりです。

- OFF** : 範囲を表示しない
- LINE** : 範囲を線で表示
- HALF** : 範囲外をハーフトーンで表示
- HALF+L** : 範囲を線で表示し、範囲外をハーフトーンで表示
- BLK.** : 範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示
- BLK.+L** : 範囲を線で表示し、範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示

MARKER^{注1注2}

マーカー機能の設定

1/2

項目名	内容	設定値
AREA MARKER^{注3}	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択	☞「お知らせ」
MARKER ASPECT^{注3}	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
SAFETY MARKER	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択	☞「お知らせ」
SAFETY AREA	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ~ 100%
FRAME	映像範囲の表示/非表示	OFF、ON
CENTER MARKER	映像の中央位置を示すマーカーの表示/非表示	OFF、ON
LINE BRIGHTNESS	マーカーの輝度を設定	HIGH、LOW

2/2

項目名	内容	設定値
R-AREA MARKER^{注3}	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択	☞「お知らせ」
R-MARKER ASPECT^{注3}	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
R-SAFETY MARKER	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択	☞「お知らせ」
R-SAFETY AREA	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ~ 100%

- エリアマーカーとセーフティマーカーは、正面のAREA MARKERボタン、SAFETY MARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」のついていない項目とついてある項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。(☞20ページ「外部制御」)
- 4:3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカーが表示されます。
- 16:9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカーを表示させるときは、エリアマーカーの表示を「OFF」にしてください。(☞「お知らせ」)

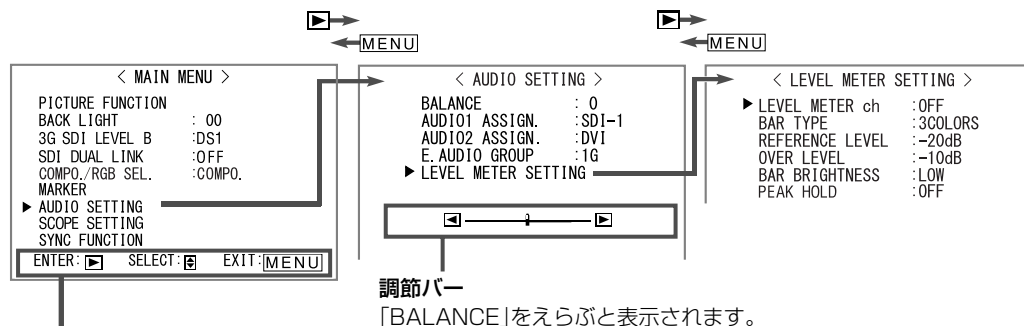
注1 入力ごとに記憶されます。

注2 1:1表示のときは表示されません。

注3 16:9表示のときのみ表示されます。

メインメニューの設定(つづき)

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。



操作ガイド

メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「E.AUDIO GROUP」の設定

設定値と、各設定でえらべるEMBEDDED AUDIOの音声チャンネルは以下のとおりです。

(GはGROUPのGです)

1G : チャンネル1/2/3/4/1+2/3+4/1~4(1G)

2G : チャンネル5/6/7/8/5+6/7+8/5~8(2G)

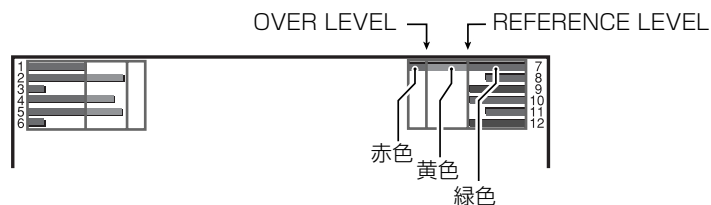
1-2G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/1+2/3+4/5+6/7+8/1~4(1G)/5~8(2G)/1~8(1G+2G)

3G : チャンネル9/10/11/12/9+10/11+12/9~12(3G)

1-3G : チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/1~4(1G)/5~8(2G)/9~12(3G)/1~8(1G+2G)/1~12(1-3G)

オーディオレベルメーターの表示例—レベルメーター表示位置とチャンネルの関係

例: LEVEL METER ch:LINE, BAR TYPE: 3COLORSのとき



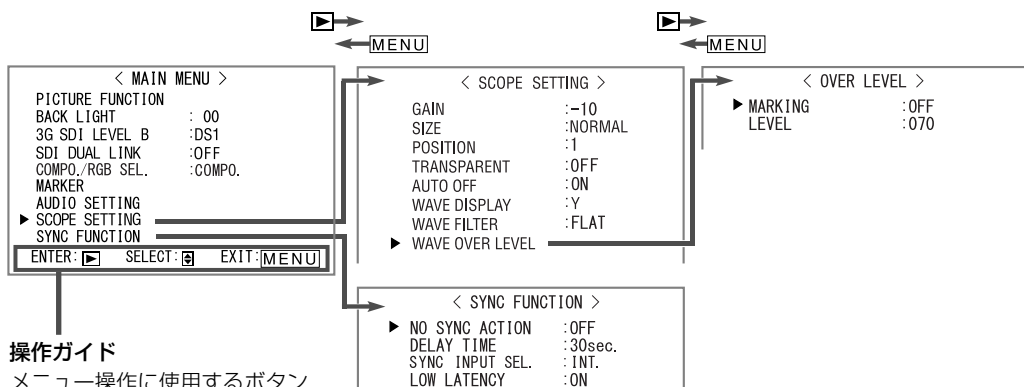
- 音声信号入力のないチャンネルのレベルメーターの色は、「3COLORS」設定時は白、「W.100」設定時は灰色になります。
- 表示位置は画面上部と下部がえらべます。(☞18ページ「INFORMATION」の「POSITION」)
- 「PEAK HOLD」が「ON」のときは、信号レベルがもっとも大きいときにレベルメーターの最大値を一定時間保持します。

AUDIO SETTING

音量バランス、EMBEDDED AUDIO信号、オーディオレベルメーターについての設定

項目名	内容	設定値
BALANCE	左右のスピーカーの音量バランスを調節	L5 ~ L1、O、R1 ~ R5
AUDIO1 ASSIGN.	AUDIO ASSIGN(IN 1)端子に音声を入力する映像入力を選択	SDI-1、SDI-2、DVI、COMP/RGB、VIDEO-1、VIDEO-2
AUDIO2 ASSIGN.	AUDIO ASSIGN(IN 2)端子に音声を入力する映像入力を選択	
E.AUDIO GROUP^{注1}	EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルグループを選択	☞「お知らせ」
LEVEL METER SETTING^{注1}	EMBEDDED AUDIO信号のオーディオレベルメーター表示を設定	☞「お知らせ」
LEVEL METER ch	レベルメーターの音声チャンネル表示順序を選択	OFF、LINE(画面左に1~6チャンネル、画面右に7~12チャンネルを表示)、DIVIDE(画面左に奇数チャンネル、画面右に偶数チャンネルを表示)
BAR TYPE	レベルメーターの色を設定	3COLORS(レベルに応じて色分け)、W.100(白色)
REFERENCE LEVEL	レベルメーターで表示される標準入力レベルを設定	-20dB、-18dB
OVER LEVEL	レベルメーターの色が「3COLORS」のときに、赤色で表示される入力レベルの下限を設定	-10dB、-8dB、-6dB、-4dB、-2dB
BAR BRIGHTNESS	レベルメーターの明るさを設定	LOW、HIGH
PEAK HOLD	レベルメーターのピークホールド機能をオン/オフ	OFF、ON

注1 入力ごとに記憶されます。



操作ガイド

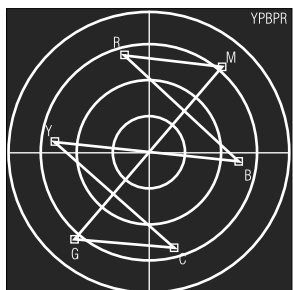
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

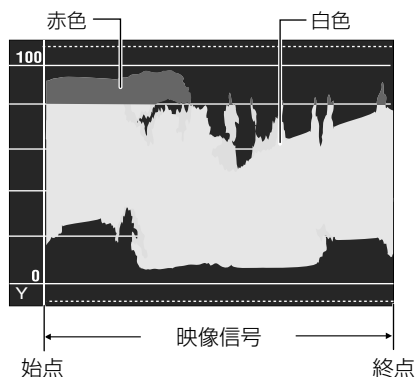
ベクトルスコープの表示例

例: カラーバー信号のとき



波形モニターの表示例

例: 輝度信号(Y)、MARKING: ON、LEVEL: 080のとき



- 「LEVEL」で設定した数値を超えた信号の波形の色は、赤に変わります。
- 入力されている信号や「WAVE DISPLAY」の選択によっては、表示に違いがあります。

SCOPE SETTING^{注1}

波形モニターとベクトルスコープについての設定

項目名	内容	設定値
GAIN	入力ゲインレベルを調節	-10 ~ +10
SIZE^{注2}	ウィンドウの大きさを設定	NORMAL、LARGE
POSITION^{注2}	ウィンドウの表示位置を選択	1(右下)、2(左下)、3(左上)、4(右上)
TRANSPARENT	ウィンドウのバックグラウンドを半透明にする	ON(半透明)、OFF(通常)
AUTO OFF	表示されてから15分後、ウィンドウが自動的に消える機能をオン/オフ	ON、OFF
WAVE DISPLAY	波形モニターの表示波形選択	Y、Pb、Pr(HD信号時) Y、Cb、Cr(SD信号時) R、G、B(RGB信号時)
WAVE FILTER	入力波形データにかけるローパスフィルター機能をオン/オフ	FLAT(フィルターなし)、LOWPASS
WAVE OVER LEVEL	輝度信号(Y)とRGB信号のオーバーレベルを設定	☞「お知らせ」
MARKING	「LEVEL」(☞下記)で設定した数値を超えた信号の波形の色を変える機能をオン/オフ	OFF、ON
LEVEL	輝度信号のオーバーレベルの下限を設定	070 ~ 109

^{注1} DVI信号(パソコン入力)では波形モニターは表示しません。

RGB信号ではベクトルスコープは表示しません。

^{注2} 「SIZE」を「LARGE」に設定していると、「POSITION」の設定値に関わらずウィンドウが画面の中央に表示されます。

SYNC FUNCTION

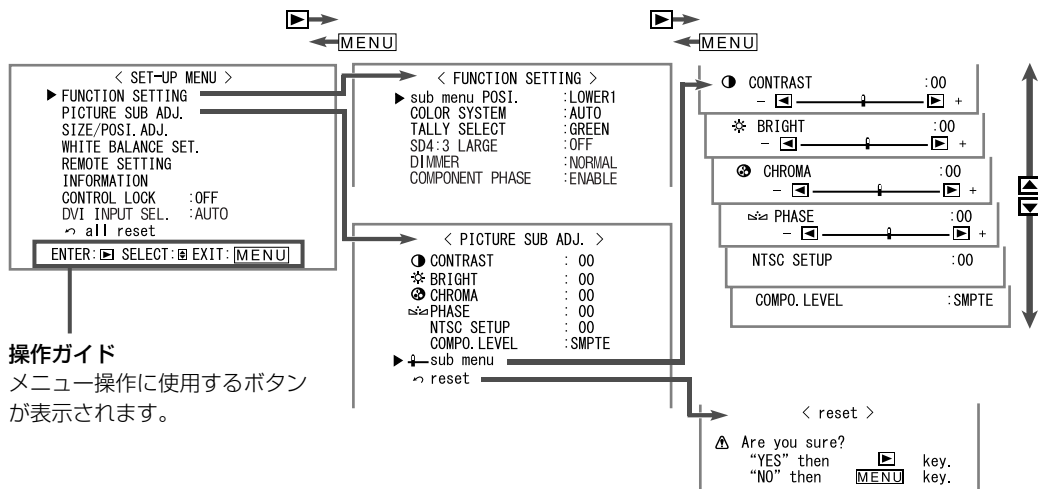
信号との同期についての設定

項目名	内容	設定値
NO SYNC ACTION	入力信号がないときの動作を設定	OFF、P.SAVE(省電力モード)、GRAY B.(灰色画面)
DELAY TIME	入力信号がなくなってから、「NO SYNC ACTION」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30sec.、5min.、15min.
SYNC INPUT SEL.^{注3}	VIDEO1、VIDEO2またはCOMPO./RGB入力するとき、同期信号を選択	INT.(内部同期)、EXT.(外部同期)
LOW LATENCY	入力された映像が表示されるまでの遅延時間を短くする機能をオン/オフ • 「ON」で映像が不安定なときは、「OFF」にしてください。 • 「ON」に設定していると、正面のボタンやメニューを操作したときや、信号フォーマットが変わったときに、画面がちらつくことがあります。	ON、OFF

- 「NO SYNC ACTION」を「GRAY B.」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。「P.SAVE」(省電力モード)にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。

^{注3} 入力ごとに記憶されます。

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「sub menu POSI.」の設定

設定値と内容は以下のとおりです。

LOWER1 : 現在の設定と調節バーを画面下部に表示

UPPER1 : 現在の設定と調節バーを画面上部に表示

LOWER2 : 現在の設定だけを画面下部に表示

UPPER2 : 現在の設定だけを画面上部に表示

• 調節バーが表示されない項目もあります。

SD4:3 LARGEの設定

設定値と内容は以下のとおりです。

OFF : 垂直方向の映像サイズを画面の画素数に合わせて表示

ON : 垂直方向の映像サイズを画面の垂直サイズに合わせて表示

FUNCTION SETTING

サブメニュー表示、カラーシステム、タリーランプの点灯色、映像のサイズ、ボタンランプの明るさ、PHASE調節の設定

項目名	内容	設定値
sub menu POSI.	サブメニューの表示内容と表示位置を選択	☑「お知らせ」
COLOR SYSTEM	カラーシステムを設定 ・「AUTO」で映像が安定しない場合は、「NTSC」または「PAL」に設定してください。	AUTO、NTSC、PAL
TALLY SELECT	タリーランプの点灯色を選択	GREEN、RED
SD4:3 LARGE	4:3フォーマットの信号が入力されているときの映像サイズを選択	☑「お知らせ」
DIMMER	ボタンランプの明るさを選択	NORMAL、DARK
COMPONENT PHASE	NTSC信号以外の人にPHASE調節(映像調節ノブまたはセットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」)を無効とする機能(☑6ページ[3])	ENABLE、DISABLE

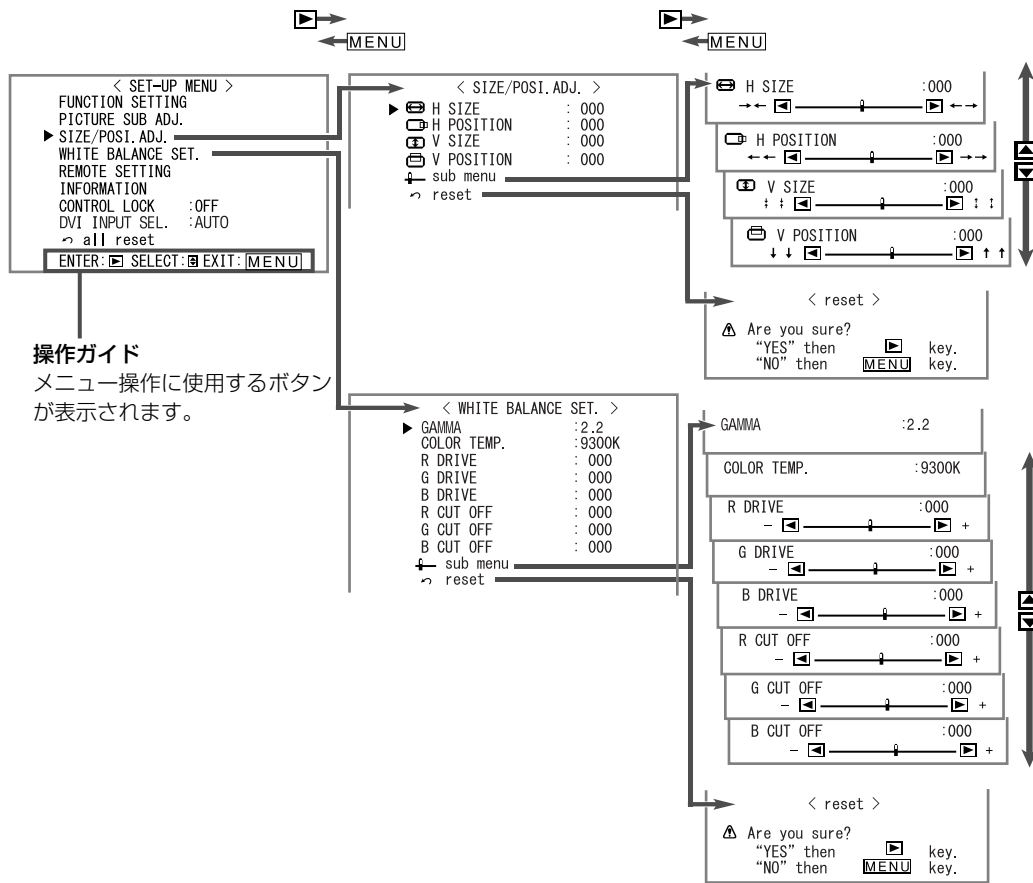
PICTURE SUB ADJ.

映像調節の基準レベル、映像信号入力時のセットアップレベルを設定

項目名	内容	設定値
CONTRAST ^{注1}	正面のCONTRAST調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
BRIGHT ^{注1}	正面のBRIGHT調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
CHROMA ^{注1}	正面のCHROMA調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
PHASE ^{注1、注2}	正面のPHASE調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	-20 ~ +20
NTSC SETUP	NTSC信号入力時のセットアップレベルを設定	00(セットアップ0%の信号)、7.5(セットアップ7.5%の信号)
COMPO. LEVEL	アナログコンポーネント信号(480i、576iのみ)のレベルを設定	B75(BetacamVTRのセットアップ7.5%の信号)、B00(BetacamVTRのセットアップ0%の信号)、SMPTE(M2VTRからの信号)
sub menu	サブメニューを使って、「PICTURE SUB ADJ.」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE SUB ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す。(項目をえらんでリセットすることはできません)	

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 「COMPONENT PHASE」を「DISABLE」に設定しているとき、PHASE調節はNTSC信号以外では働きません。



- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

SIZE/POSI. ADJ.

映像のサイズや位置を調節

項目名	内容	設定値
H SIZE ^{注1}	水平方向の映像サイズを調節	設定範囲は信号ごとに異なります。
H POSITION ^{注1}	水平方向の映像位置を調節	
V SIZE ^{注1}	垂直方向の映像サイズを調節	
V POSITION ^{注1}	垂直方向の映像位置を調節	
sub menu	サブメニューを使って、「SIZE/POSI. ADJ.」の各項目を映像を見ながら調節	
reset	「SIZE/POSI. ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す。 (項目をえらんでリセットすることはできません)	

^{注1} 信号フォーマットごとに記憶されます。

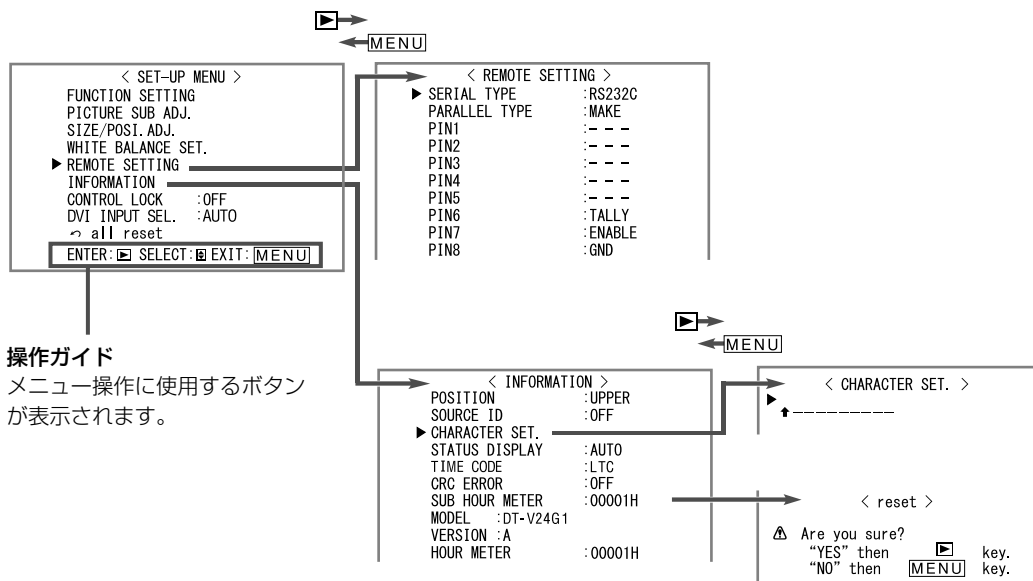
WHITE BALANCE SET.

ガンマ補正值、色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節

項目名	内容	設定値
GAMMA	ガンマ補正值を選択	2.2(γ2.2相当)、 2.35(γ2.35相当)、 2.45(γ2.45相当)、 2.6(γ2.6相当)
COLOR TEMP.	色温度を選択	9300K、6500K、USER
R DRIVE G DRIVE B DRIVE ^{注2}	赤(R)、緑(G)、青(B)のドライブレベルを調節	MIN ~ 000 ~ MAX(256段階)
R CUT OFF G CUT OFF B CUT OFF ^{注2}	赤(R)、緑(G)、青(B)のカットオフ点を調節	MIN ~ 000 ~ MAX(256段階)
sub menu	サブメニューを使って、「WHITE BALANCE SET.」の各項目を映像を見ながら調節	
reset	「COLOR TEMP.」で選択されている色温度の「R DRIVE」~「B CUT OFF」の各項目の設定をお買い上げ時の状態に戻す。(項目をえらんでリセットすることはできません)	

^{注2} 「COLOR TEMP.」の設定値ごとに記憶されます。

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。



操作ガイド
メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

お知らせ

「CHARACTER SET.」の設定

入力ごとの映像ソース名を登録します。

- 映像ソース名を登録したい入力に切り換える
- 「CHARACTER SET.」を表示させる
- △▽ボタンを押して1文字目に入力する文字をえらぶ
 - △ボタンを押すごとに、文字が次のように切り換わります。
 - ▽ボタンでは逆順に切り換わります。

→ 空白(スペース) → 0~9 → A~Z → a~z → (&) * +, - / : < > _
- ▷ボタンを押してカーソル(矢印)を次の文字の入力位置に移動させる
 - カーソル(矢印)を移動させる前に入力した文字は記憶されます。
- 手順3、4をくり返して、最大10文字まで入力する
- MENUボタンを押して設定を保存する



REMOTE SETTING (☞20~23ページ「外部制御」)

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
SERIAL TYPE	シリアル方式で外部制御するときの外部制御端子を選択	RS232C, RS485
PARALLEL TYPE	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	MAKE, TRIGGER, SET
PIN1 PIN2 PIN3 PIN4 PIN5	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を各ピンに割り当て • 割り当ては上記の「PARALLEL TYPE」で「SET」をえらんで行ないます。(「PIN6」~「PIN8」にはあらかじめ機能が割り当てられています。変更することはできません。)	☞21ページ「MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能」の「モニター表示」

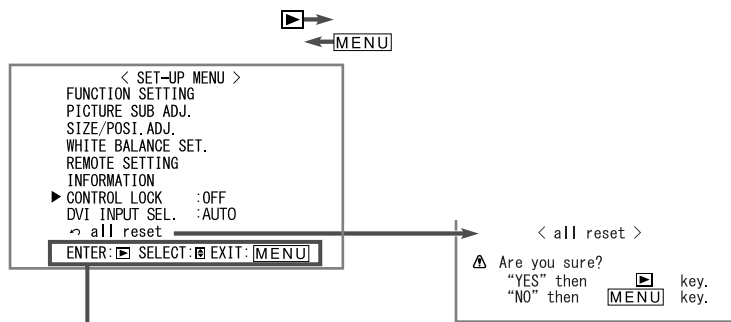
INFORMATION

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値
POSITION	情報を表示させる位置を設定(☞7ページ「情報表示について」)	UPPER, LOWER
SOURCE ID	「CHARACTER SET.」で登録した映像ソース名の表示/非表示を設定(☞7ページ「情報表示について」) • 「AUTO」に設定し、タリールンプを点灯させている場合はタリールンプの点灯色と同じ色に変わります。	OFF, ON, AUTO
CHARACTER SET. ^{注1}	任意の入力映像ソース名(10文字まで)を登録 RS-232C方式でも入力できます。	☞「お知らせ」
STATUS DISPLAY	現在えらんでいる入力のステータスとMUTING(消音)の設定状態の表示/非表示を設定(☞7ページ「ステータス表示について」)	AUTO, OFF, ON
TIME CODE	タイムコードの表示種類を選択	VITC ^{注2} , LTC ^{注2} , D-VITC
CRC ERROR	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定(☞7ページ「情報表示について」)	ON, OFF
SUB HOUR METER	使用時間を表示(単位:時間) 使用時間は、リセットして0に戻すことができます。	
MODEL	本機の型名を表示	
VERSION	本機のバージョンを表示	
HOUR METER	合計使用時間を表示(単位:時間) 本機の保守の際に確認します。合計使用時間はリセットできません。	

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 アンシラリータイムコード



操作ガイド

メニュー操作に使用するボタンが表示されます。

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

CONTROL LOCK 設定値: OFF、VOL.LOCK、ALL LOCK

本機の操作ができないように設定

- 「VOL.LOCK」のときは以下の操作は働きません。
 - VOLUME調節ノブ
 - 映像調節ノブ
 - 「ALL LOCK」のときは本機の操作ができません。ただし以下の操作は可能です。
 - モニターのオン/オフ(スタンバイ)
 - ▽ボタンを押しながら◀ボタンを押してセットアップメニューを表示し、「CONTROL LOCK」を「OFF」にする
 - 外部制御による本機の操作
- これら以外の操作をすると、画面に「Control lock on!」と表示されます。

DVI INPUT SEL. 設定値: AUTO、COMPO.、RGB、PC

「AUTO」に設定すると、DVI-D(HDCP)端子に入力されている信号形式を自動判別します。(通常は「AUTO」に設定します。)

- 「AUTO」で映像が正しく映らない場合は、「COMPO.」、「RGB」、「PC」のいずれかに設定してください。
- 本機のDVI-D入力はHDCPに対応しています。

all reset

本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す(リセット)

- 「HOUR METER」と正面の調節ノブによる設定はリセットされません。
- リセットすると、いったんモニターがオフ(スタンバイ)になり、その後自動的にオンになります。

外部制御

■ 外部制御の概要

本機は3種類の外部制御端子を備えています。

- **MAKE/TRIGGER端子**(RJ-45):以下の2種類の制御方式から選ばれます。

① MAKE(メイク接点)方式

ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。

② TRIGGER(トリガー)方式

ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。

☞右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」

- **RS-485端子**(RJ-45):RS-485方式で本機を制御します。(☞22ページ「シリアル方式での外部制御」)
- **RS-232C端子**(D-sub 9ピン):RS-232C方式で本機を制御します。(☞22ページ「シリアル方式での外部制御」)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」を下の表のように設定してください。(☞18ページ「SERIAL TYPE」、「PARALLEL TYPE」)

外部制御端子	外部制御方式	本機の設定	
		「SERIAL TYPE」	「PARALLEL TYPE」
MAKE/TRIGGER 端子	MAKE	—	MAKE
	TRIGGER	—	TRIGGER
RS-485 端子	シリアル方式	RS-485	RS485 ^{注1}
RS-232C 端子		RS-232C	RS232C ^{注1}

注1 パソコンなどに接続したモニターは、接続した端子に合わせて設定します。2台め以降は「RS485」に設定します。

外部制御中、本機の操作には、次のような優先順位があります。

MAKE方式 > TRIGGER方式 = シリアル方式 = 本機のボタンおよびメニュー

- 「CONTROL LOCK」(☞19ページ)が「VOL.LOCK」または「ALL LOCK」のときも、外部制御できます。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときは、外部制御できません。ただし、シリアル方式の一部の外部制御(通信開始/終了、モニターオン)は可能です。(☞23ページ)

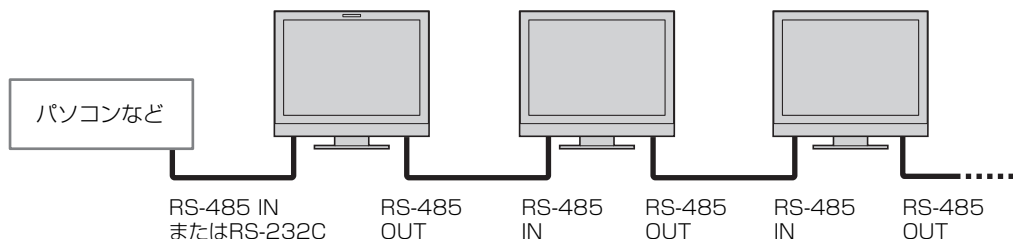
<MAKE、TRIGGER方式>

パソコンまたはコントローラ^{注2}で本機を制御します。

- 詳しくは右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」をご覧ください。

注2 別途制作の必要があります。

<シリアル方式>



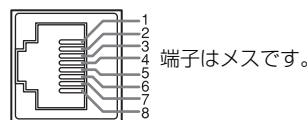
- 詳しくは22ページをご覧ください。

■ MAKE/TRIGGER方式での外部制御

MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。

1番ピンから5番ピンの機能は、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で割り当てることができます。(☞18ページ「PARALLEL TYPE」、「PIN1、PIN2、PIN3、PIN4、PIN5」)

- 6番ピンから8番ピンの機能は変更できません。



ピン番号	名前
1	PIN1
2	PIN2
3	PIN3
4	PIN4
5	PIN5
6	TALLY ^{注1}
7	ENABLE ^{注2}
8	GND

注1 6番ピンはタリールンプの点灯/消灯を制御します。(7番ピンが無効のときも単独制御できます)

注2 7番ピンは外部制御の有効/無効を制御します。必ずMAKE方式で制御してください。

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、7ページをご覧ください。

1. セットアップメニューを表示して、「REMOTE SETTING」をえらぶ
2. 「PARALLEL TYPE」を「SET」に設定する
3. 割り当てたい端子(「PIN1」~「PIN5」)をえらび、機能を割り当てる
割り当てられる機能については、21ページの一覧表をご覧ください。

外部制御の操作

1. セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で「PARALLEL TYPE」を「MAKE」または「TRIGGER」に設定する
 2. 7番ピンを8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
 3. MAKE方式の場合: 各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
TRIGGER方式の場合: 各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する
- MAKE方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換える入力ピンを有効にしてください。
 - TRIGGER方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

<MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能>

モニター表示	制御する機能	開放	短絡
TALLY SEL	タリーランプ色選択	緑	赤
SDI 1	入力を「SDI 1」に切換	無効	有効
SDI 2	入力を「SDI 2」に切換	無効	有効
DVI	入力を「DVI」に切換	無効	有効
COMP./RGB	入力を「COMPO. / RGB」に切換	無効	有効
VIDEO1	入力を「VIDEO 1」に切換	無効	有効
VIDEO2	入力を「VIDEO 2」に切換	無効	有効
EXT.SYNG	同期信号切換	内部同期	外部同期
3G-B.DS	「3G SDI LEVEL B」のデータストリーム選択	DS1	DS2
DUAL LINK	「SDI DUAL LINK」の選択	オフ	オン
A.MARKER	エリアマーカ表示	オフ	オン
S.MARKER	セーフティマーカ表示	オフ	オン
FRAME	映像範囲表示	オフ	オン
C.MARKER	センターマーカ表示	オフ	オン
MARK.SEL	「MARKER」で設定した機能の選択 ^{注3}	「R-」のない機能の設定	「R-」付きの機能の設定
ASPECT	アスペクト切換	4:3	16:9
1:1	1:1表示	オフ	オン
STATUS	ステータス表示 ^{注4}	☞7ページ「ステータス表示について」	
L.METER	オーディオレベルメーター表示	注5	
TIME CODE	タイムコード表示	オフ	オン
SOURCE ID	☞18ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」	注6	
WAVE FORM	波形モニター表示	注7	
VECTOR	ベクトルスコープ表示	注7	
COLOR OFF	カラーオフ	カラー	モノクロ
SCR CHECK	スクリーンチェック	注8	
I/P MODE	入力映像に応じてモードを切換	注9	
MUTING	消音	オフ	オン
DIMMER	ボタンランプの明るさを切換	NORMAL	DARK
---	機能なし	—	—

- 注3 「R-」のない機能と「R-」付きの機能の設定のどちらを使うかを選択します。(☞13ページ「MARKER」)
- 注4 現在えらんでいる入力のINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報が表示されます。(☞7ページ「ステータス表示について」)MAKE方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。
- 注5 MAKE方式では、表示(短絡)/非表示(開放)を切り換えます。「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは、短絡しても表示されません(「NO EFFECT」と表示されます)。TRIGGER方式では、オーディオレベルメーターの音声チャンネルの表示順序を切り換えます。
- 注6 MAKE方式では、「SOURCE ID」の設定値(「ON」または「AUTO」は短絡)と「OFF」(開放)を切り換えます。TRIGGER方式ではメニューの設定と同じように切り換わります。(☞18ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」)
- 注7 MAKE方式では、メインメニューの「AUTO OFF」の設定に関わらず波形モニターまたはベクトルスコープの表示(短絡)/非表示(開放)を切り換えます。TRIGGER方式では、SCOPEボタンを押したときと同じように切り換わります(☞6ページ13)。波形モニターとベクトルスコープを検出した場合は、波形モニターが優先されます。
- 注8 MAKE方式では、通常の映像(開放)とB信号成分のみの映像(短絡)が切り換わります。TRIGGER方式では、SCREENS CHECKボタンを押したときと同じように切り換わります(☞6ページ11)。
- 注9 TRIGGER方式で制御してください。「NORMAL」→「CINEMA」→「FIELD」の順番でモードが切り換わります。(MAKE方式では、制御できません)

- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- TRIGGER方式の場合、約1秒間短絡して解放する操作により、設定が交互に切り換わります。

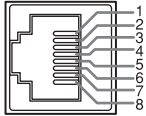
■ シリアル方式での外部制御

RS-485端子またはRS-232C端子を使って、本機をパソコンなどから制御します。
 ※制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

<通信仕様>

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485端子	ストレートLANケーブル	☞下記	ボーレート:4800 bps データ長:8ビット パリティ:なし ストップビット:1ビット フロー制御:なし 通信コード:ASCIIコード
RS-232C端子	D-sub9ピン型コネクターのストレートケーブル(モニター側:オス、パソコン側:メス)		

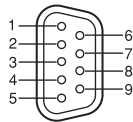
<RS-485端子の仕様>



端子はメスです。

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD-	TXD-
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	NC
6	RXD-	RXD-
7	NC	NC
8	GND	GND

<RS-232C端子の仕様>



端子はメスです。

ピン番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

• 7番ピンと8番ピンは接続されています。

<コマンド概要>

すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

ヘッダー	本機のID	コマンドID	コマンド内容	データ内容	Cr(ODh)
------	-------	--------	--------	-------	---------

ヘッダーについて

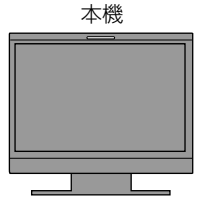
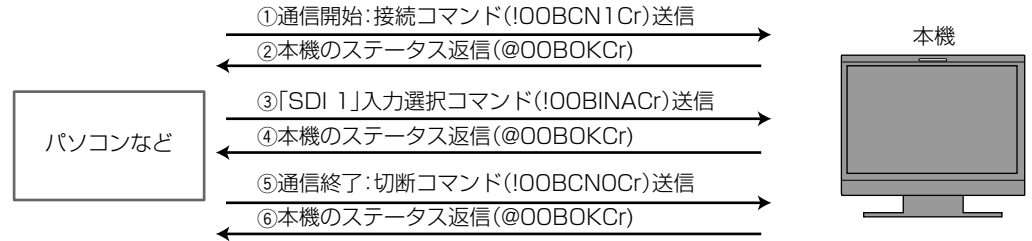
「!」: パソコンから本機への制御。詳しくは、<基本コマンド一覧>(☞23ページ)をご覧ください。

「?」: パソコンから本機への問い合わせ

「@」: 本機からパソコンへの返信

通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例



<基本コマンド一覧>

No.	コマンド	機能	データ内容
1	! * *注1 B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2	! * *注1 B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! * *注1 B I D S E T x x注2 Cr	個別制御IDの割付	01~99
4	! * *注1 B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
5	! * *注1 B I D D S P x x注2 Cr	IDの表示/非表示	00:非表示、01:表示
6	! * *注1 B I D C H K x x注2 Cr	指定したIDのモニターのID No.を点滅表示/非表示	00:非表示、01:表示
7	! * *注1 B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
8	! * *注1 B U P Cr	項目選択(Δ)	なし
9	! * *注1 B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
10	! * *注1 B A D J R Cr	設定・調整(▷)	なし
11	! * *注1 B A D J L Cr	設定・調整(◁)	なし
12	! * *注1 B S E T U P Cr	セットアップメニューの表示	なし
13	! * *注1 B P W 1 Cr	モニターをオン	なし
14	! * *注1 B P W 0 Cr	モニターをオフ(スタンバイ)	なし
15	! * *注1 B I N A Cr	「SDI 1」入力選択	なし
16	! * *注1 B I N B Cr	「SDI 2」入力選択	なし
17	! * *注1 B I N C Cr	「DVI」入力選択	なし
18	! * *注1 B I N D Cr	「COMPO./RGB」入力選択	なし
19	! * *注1 B I N E Cr	「VIDEO1」入力選択	なし
20	! * *注1 B I N F Cr	「VIDEO2」入力選択	なし
21	! * *注1 B D I S P Cr	ステータス表示注3	なし
22	! * *注1 B A M U T E x x注2 Cr	消音	00:オフ、01:オン
23	! * *注1 B A S P x x注2 Cr	アスペクト切換	00:4:3、01:16:9

- 「Cr」は0Dhです。
- 通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.13)は、モニターがオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

注1 「* *」には、本機のIDを入力します。本機のIDの初期設定は「00」です。モニターを複数台接続している場合、「00」は一括制御コマンドになります。

注2 「xx」にはデータ内容を入力します。

注3 現在点灯しているINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報を表示します。(※7ページ「ステータス表示について」)

故障かな？と思ったら

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● /1 ボタンをオンにしてください。 ■ 電源プラグを確実に差し込んでください。 ■ 背面の電源スイッチをオンにしてください。 	6 8 8
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ■ INPUT SELECT ボタンで正しい入力をえらんでください。 ■ 信号ケーブルを確実に接続してください。 ■ 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 ■ 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 	6 8 — 10, 11
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 音量を調節してください。 ■ 消音を解除してください。 ■ 信号ケーブルを確実に接続してください。 ■ 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 	6 6 8 —
「OTHERS」または「Out of range」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 	10, 11
「NO SYNC」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ■ INPUT SELECT ボタンで正しい入力をえらんでください。 ■ 信号ケーブルを確実に接続してください。 ■ 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境(ビデオデッキの映像出力設定やパソコンのグラフィックボードなど)を確認してください。 	6 8 —
色がおかしい/色がつかない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各映像調節ノブまたはセットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。 ■ COLOR OFF ボタン、SCREENS CHECK ボタンの設定を確認してください。 ■ セットアップメニューの「FUNCTION SETTING」で「COLOR SYSTEM」を正しく設定してください。 ■ セットアップメニューの「WHITE BALANCE SET.」の各項目を調節してください。もしくは設定を初期化してください。 	6, 16 6 16 17

こんなときは	こうしてください	ページ
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ■ 映像調節ノブで「CONTRAST」や「BRIGHT」を調節してください。または、セットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の項目で「CONTRAST」や「BRIGHT」を調節してください。 	6, 16
映像の位置がずれている、映像のサイズが合っていない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1:1 ボタン、ASPECT ボタンの設定を確認してください。 ■ 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 ■ セットアップメニューの「SIZE/POS. ADJ.」で映像のサイズ(H SIZE, V SIZE)・位置(H POSITION, V POSITION)を調節してください。 <p>信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。</p>	6 10, 11 17
メニューに表示されない項目がある	<ul style="list-style-type: none"> ■ 選択している入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。 ■ MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。 	— 20
本機で操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ■ セットアップメニューの「CONTROL LOCK」を「OFF」に設定してください。 ■ MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。 	19 20, 21
こんなときは故障ではありません		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること(残像)がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。 ■ 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。 ■ 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。 <ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感ずる。 • 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。 • 本機から「ミシッ」という音がする。 • 本機の内部から動作音が聞こえる。 		

故障かな?と思ったら(つづき)

■ 自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、INPUT SELECTランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。INPUT SELECTランプが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。



イラストはDT-V24G1です。

画面が消え、正面のINPUT SELECTランプ(COMPO./RGB、VIDEO 1、VIDEO 2)が点滅したら...

1. どのランプが点滅しているかを確認する
2. 0/1 ボタンを押してモニターをオフ(スタンバイ)にする
3. 背面の電源スイッチをオフにする
4. 電源コードを抜く
5. お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる

• 電源を切った後、すぐに電源を入れると、INPUT SELECTボタンが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含まれます)。このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。INPUT SELECTランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、24ページおよび左記の「故障かな?と思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品名	液晶マルチフォーマットモニター
型名	DT-V24G1/DT-V20L3G
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 +
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 +
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいが出たり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用中

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

■ 一般

型名	DT-V24G1	DT-V20L3G
種類	液晶マルチフォーマットモニター	
画面サイズ	24V型ワイド	20V型ワイド
アスペクト比	16:10	
水平/垂直周波数(パソコン信号)	水平: 31.469 kHz~75.000 kHz 垂直: 48 Hz~65 Hz * この周波数の範囲内でも信号によっては映らない場合があります、「Out of range」と表示されます。	
対応映像信号フォーマット	10ページ「対応信号フォーマット」	
適用規格	3G SDI: SMPTE424M/SMPTE425M DUAL LINK HD SDI: SMPTE372M HD SDI: BTA S-004C, SMPTE292M SD SDI: ITU-R BT.656:525/625 SMPTE259M:525 EMBEDDED AUDIO: SMPTE299M, SMPTE272M	
音声出力	内部スピーカー: 1.0 W + 1.0 W	
動作使用条件	温度 5℃~35℃ 湿度 20%~80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)	
使用電源	AC 100 V, 50 Hz/60 Hz共用	
定格電流	1.37 A	1.2 A
外形寸法(突起部除く)	横幅: 56.4 cm 56.4 cm 高さ: 44.86 cm 40.8 cm 奥行: 24.3 cm 9.9 cm (スタンドを含む)(本体のみ)	横幅: 47.7 cm 47.7 cm 高さ: 39.46 cm 35.4 cm 奥行: 24.3 cm 9.9 cm (スタンドを含む)(本体のみ)
質量	11.6 kg(スタンドを含む) 8.7 kg(本体のみ)	10.6 kg(スタンドを含む) 7.7 kg(本体のみ)
付属品	電源コード(3極)×1、電源コード(アース線付き2極)×1、 電源コードホルダー×1、ネジ×2(電源コードホルダー用)	

輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(24V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「JIS C 61000-3-2適合品」です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

■ 液晶パネル

型名	DT-V24G1	DT-V20L3G
種類	24型ワイド、アクティブマトリックス TFT	20型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法	横幅: 51.84 cm 高さ: 32.4 cm	横幅: 43.34 cm 高さ: 27.09 cm
表示画素数(解像度)	1920×1200ピクセル	1680×1050ピクセル
表示色数	約1677万色	
視野角(標準値)	左右: 178° 上下: 178°	左右: 178° 上下: 178°
輝度(標準値)	400 cd/m ²	470 cd/m ²
コントラスト比(標準値)	1000:1	700:1

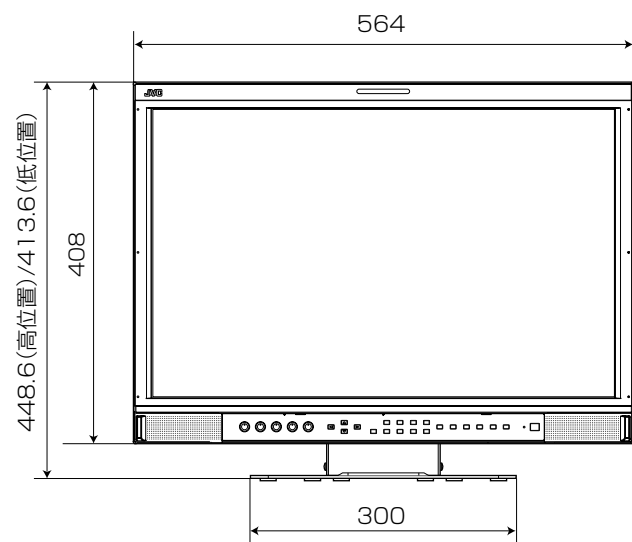
■ 入出力端子

型名	DT-V24G1	DT-V20L3G
映像	VIDEO (INPUT 1)	コンポジット信号入出力: 2系統、BNCコネクター×4、 1 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	VIDEO (INPUT 2)	
	DVI-D (HDCP)	DVI-D信号入力(HDCP対応): DVI-Dコネクター×1 (DDC2B対応)
	COMPO. / RGB (G/Y、B/P _B /B-Y、R/P _R /R-Y)	アナログコンポーネント信号/アナログRGB信号入出力: 1系統、BNCコネクター×6 G/Y: 1 V(p-p)、75 Ω(同期信号含む) B/P _B /B-Y、R/P _R /R-Y: 0.7 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	EXT.SYNC (CS)	複合同期信号入出力: 1系統、BNCコネクター×2、0.3 V(p-p) - 4 V(p-p)、 75 Ω(正負両極性3値、負極性2値、BB)(映像信号は含まず) ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO/DUAL LINK信号対応): 自動検知、2系統、BNCコネクター×2
E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 1系統スイッチドアウト、BNCコネクター×1	
音声	AUDIO ASSIGN (IN 1)	アナログ音声信号入力: 2系統、RCAコネクター×4、 500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO ASSIGN (IN 2)	
	AUDIO ASSIGN (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力: 1系統、RCAコネクター×2、 500 mV(rms)
外部制御	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	20ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-485)	22ページ「シリアル方式での外部制御」
	REMOTE (RS-232C)	

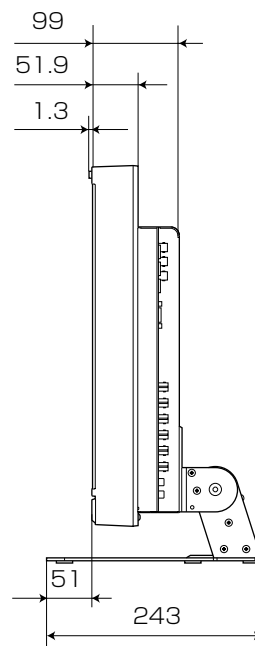
■ 外形寸法図 (単位:mm)

DT-V24G1

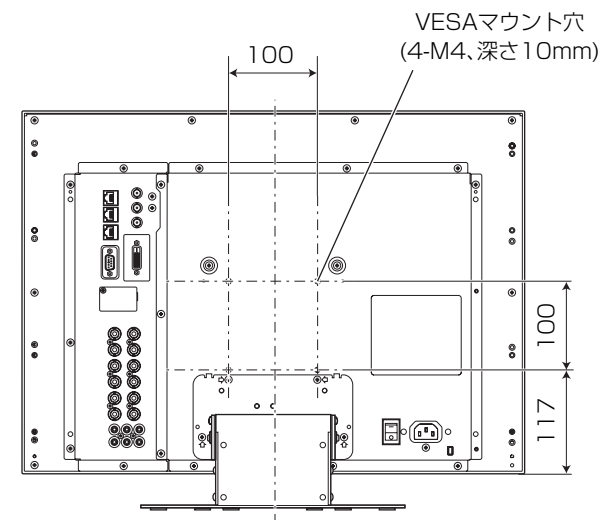
<正面>



<側面>

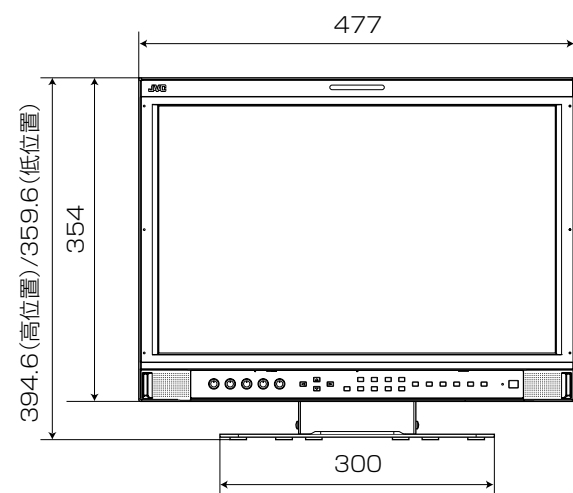


<背面>

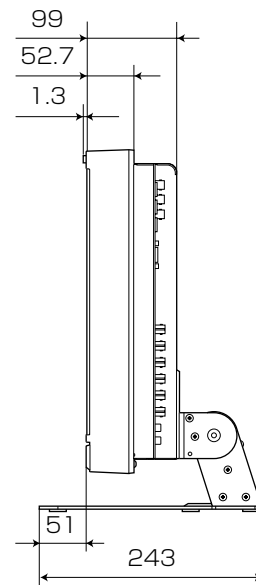


DT-V20L3G

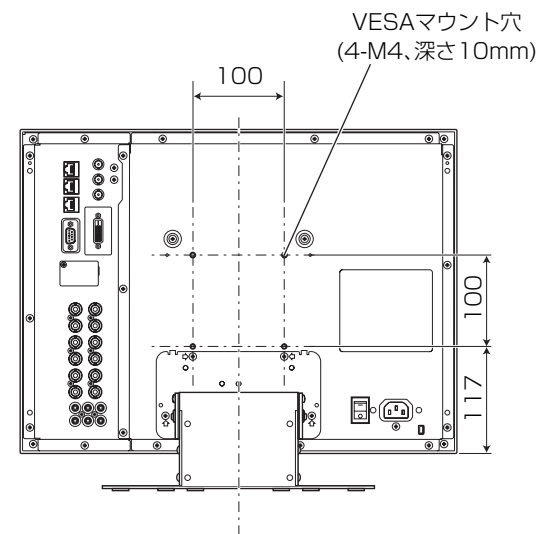
<正面>



<側面>



<背面>



製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、25ページをご覧ください。

修理に関するご相談

お買い物情報や全般的なご相談

25ページをご覧ください。

お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045) 450-8950

FAX (045) 450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12